

学習課題(小学校3年生)



【国語】

〈学習内容〉

- ◆「ことわざ・故事成語」（教科書⑤56 ページ）に取り組みます。

ことわざ…生きていくうえでのちえや教えを、短い言葉や言い回して表したもの。
故事成語…ことわざに似た短い言葉で、中国につたわる古い出来事や物語が元になってきた言葉。

- (1) 教科書 56 ページを読みましょう。
- (2) 57 ページのことわざの意味を、国語辞典やことわざの本、インターネットなどを使って調べましょう（ことわざの本で調べるときは、目次やさくいんを使いましょう）。
- (3) 58 ページ、146 ページ「知ると楽しい『故事成語』」を読みましょう。
- (4) 「すきなことわざ ベスト3」をえらびます。ことわざと意味、そのことわざを使った文をノートや取組シートに書きましょう。



みんながよく使う「かんべき」も、実は故事成語です。「完璧」と書きます。

- ◆「漢字の意味」（教科書⑥60 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 60 ページの上の段を読みましょう。
- (2) 60～61 ページの**1**～**2**を、ノートや取組シートに書きましょう。
- (3) **3**に取り組みます。148～152 ページ「これまでに習った漢字」から、同じ読み方で、意味のちがう漢字を見つけて、それぞれの漢字で文を作り、ノートや取組シートに書きましょう。できるだけたくさん書けるようがんばりましょう。

〈書き方の例〉

「**犬**」…となりの家は、秋田**犬**を
 二ひきかっています。
 「**県**」…私のおばさんは、五年前
 から秋田**県**にすんでいます。

- ◆「短歌を楽しもう」（教科書⑦62 ページ）に取り組みます。

七月に学習
 した「俳句」の
 とくちようと、
 にている所が
 ありますね。



短歌…五・七・五・七・七の三十一音^{おん}で作られた短い詩。
 しぜんの様子や、そこから感じられること、心に思う
 いろいろなことなどが詩に表されています。

- (1) 四つの短歌を声に出して読み、ノートや取組シートに書き写しましょう。
- (2) それぞれの短歌は、どこで区切るとリズムが取りやすいでしょうか。
 (1)で書き写した短歌に、線を引いて区切ってみましょう。
- (3) 四つの俳句のうち、言葉の調子やひびきが気に入った短歌の暗唱^{あんしょう}
 (教科書を見ずに、声に出して唱^{とな}えること)にちょうせんしましょう。

(4) 暗唱した短歌を、おうちの人に聞いてもらいましょう。

◆「漢字の広場5」（教科書⑥64 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書に書かれている漢字を音読しましょう。
- (2) 教科書に書かれている〈れい〉をさん考に、絵にある学校の様子を、日記をつけるようにノートや取組シートに書きましょう。
※ 64 ページにのっている言葉を、全部使いましょう。
※ 一つの文に、64 ページの言葉を二つ以上使ってもよいです。

◆「三年とうげ」（教科書⑥66～80 ページ）に取り組みます。

この学習では、自分の好きな世界の民話(古くから語りつたえられてきたお話)や昔話をおうちの人にしょうかいします。お話の『組み立て』をとらえると、ないよ
うやおもしろさをしょうかいしやすくなるので、『組み立て』をとらえられるよう
がんばりましょう。(今回と次回で「三年とうげ」を学習します。)



- (1) 全文を音読しましょう。
- (2) 組み立て『① 始まり』をとらえます。「三年とうげ」は、
 - ・どこにあるか
 - ・どんなとうげか
 - ・どんな人物が出てくるか

～組み立て～

- ①始まり（時・場所・登場人物）
- ②出来事（事件）が起こる
- ③出来事（事件）が解決する
- ④むすび（その後、どうなったか）

ノートや取組シートに書きましょう(この続きは次回学習します)。

※ 次回までに、自分がしょうかいしたい民話や昔話を用意しましょう。



有名な民話に、「はだかの王様」「ジャックと豆の木」「赤ずき
ん」「3びきのこぶた」「ブレーメンの音楽たい」「ヘンゼルと
グレーテル」などがあります。教科書で学習した「おおきなか
ぶ」や「スーホの白い馬」も、世界で人気の民話です。

◆教科書⑥61 ページで学習する新出漢字（「旅」～「皿」）を練習します。

- (1) 154～155 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましょう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましょう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートや取組シートに書きま
しょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「三年とうげ」は、お話の組み立てに着目して読み、自分のお気に入りの民話や昔話を紹介する学習です。組み立てを捉えることで、登場人物の考えや気持ちの変化を理解しやすくなります。上の吹き出しで紹介した物語を参考に、紹介したい民話や昔話の用意をお願いします。用意が難しい場合は、1年生の教科書「おおきなかぶ」、2年生の教科書「スーホの白い馬」のどちらかを紹介するよう促してください。
- ・P66 にはたくさんの植物が登場します。インターネットなどで画像を見せることで、「だれだったため息の出るほど、よいながめ」を想像しやすくなります。